

**製品名: CDK9 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80986**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	43kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDK9
別名	TAK; C-2k; CTK1; CDC2L4; PITALRE
遺伝子 ID	1025.0
SwissProt ID	P50750
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDK9 の精製された組み換え断片。

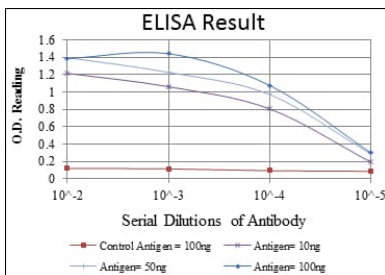
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性タンパク質キナーゼ（CDK）ファミリーのメンバーです。CDKファミリーのメンバーは、*S. cerevisiae* cdc28 および *S. pombe* cdc2 の遺伝子産物と非常に類似しており、重要な細胞周期制御因子

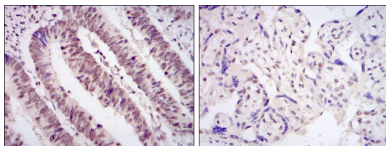
として知られています。このキナーゼは、RNA ポリメラーゼ II を介した転写の伸長因子であり、RNA ポリメラーゼ II の最大サブユニットの C 末端ドメインをリン酸化することで機能する、多タンパク質複合体 TAK/P-TEFb の構成要素であることがわかりました。このタンパク質は、その制御サブユニットであるサイクリン T またはサイクリン K と複合体を形成し、制御されます。HIV-1 Tat タンパク質はこのタンパク質およびサイクリン T と相互作用することが判明しており、このタンパク質が AIDS に関与している可能性が示唆されました。(RefSeq 提供) 組織特異性: 普遍的。

## 研究分野

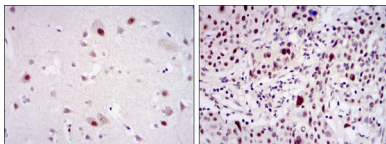
## 画像データ



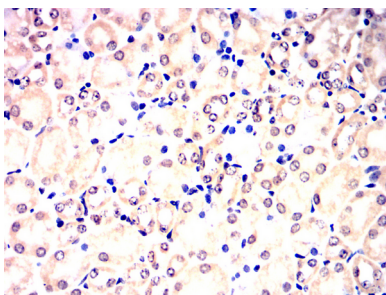
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



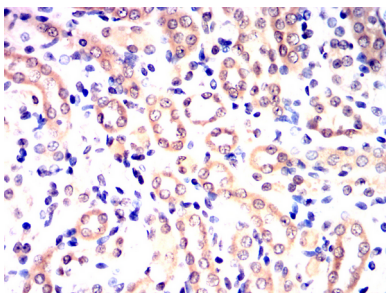
DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト直腸癌組織 (左) と胎盤組織 (右) の免疫組織化学分析。



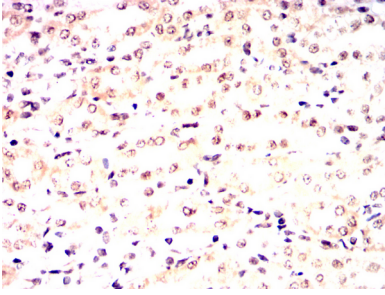
DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト脳組織 (左) と食道癌組織 (右) の免疫組織化学分析。



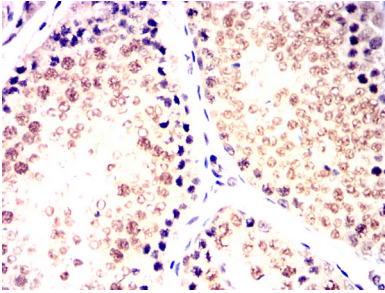
DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用したパラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ精巣の免疫組織化学分析。